

【第14回人材育成学会研究会開催のご案内】**公式メンターの運用とその課題を探る
～ 人材育成の手段としてのメンタリングの現実場面での実践
：その成果と課題をめぐって ～**

この10年ほど、わが国の人材育成の中でメンターやメンタリング、また、メンタリングプログラムという言葉がかなり頻りに用いられるようになってきました。メンターという言葉自体は、遠くギリシア神話まで遡るものであり、教育学の中での歴史は非常に長いとされています。このキーワードが米国の人材育成の中で重要な概念として一定の役割を占めだしたのは、おそらくは、1970年代からであり、1985年のK.クラムのMentoring at Workの刊行によって、研究テーマとしてもその重要性の認識を飛躍的に高めたとしてよいと思われます。わが国においては、1990年代の初頭の山口祐子氏の研究に端を発し、前世紀末ごろより、産業・組織心理学会や日本労務学会等での研究発表が、次第に数を増してきたように思います。また、人的資源ビジネスの中でもそれが用いられることが多くなってきました。

しかしながら、本来、私的な人間関係の中でのキャリア発達支援という概念でその支援者をメンターと呼んでいたものを、ビジネスの手段として、または、組織が公式の能力開発の手段として用いるようになって来たプロセスの中で、メンターやメンタリングという概念が非常に拡散し、OJTや旧来のブラザー・シスター・プリセプターなどの制度とどのように異なるのか、ほとんど分からないような研究発表やプログラムが出現しているようにも思えます。

そこで、今回の研究会は、メンターを企業的能力開発の手段として導入されておられる企業2社と、新規採用者のマン・ツー・マンの育成手段としてプリセプター制度を広く導入している看護界においてプリセプターとメンターを合わせて導入しておられる病院から、パネラーをお招きしました。各パネラーからは、皆さんが所属する会社・病院における、メンターの導入に至る契機、その実践に至る経過、成果、運用上の問題点などを報告していただき、それに対して、メンター研究の最古参のお一人で、一般企業で働く人々に対する実証研究だけでなく、看護界に対してもヒアリングの経験が豊富な東京富士大学の関口先生より、コメントを戴くことにいたしました。それらのご報告やコメント、また、フロアーを巻き込んだ質疑を通して、参加者のメンターやメンタリングに関する認識を深めるとともに、この言葉・概念の使用に関する共通ベースを確立していく機会になればと考えております。

多くの方々にご参加いただき、意義ある研究会になればと願っております。ご多用中とは存じますが、ぜひともご参加いただきたくご案内申し上げます。

日時： 2008年9月6日(土) 13:30～17:20

会場： (財)日本科学技術振興財団 科学技術館 事務棟6階第3会議室

所在地：東京都千代田区北の丸公園2-1

交通：竹橋駅1b出口から、毎日新聞社前の竹橋交差点を渡り、「竹橋」を渡って、国立公文書

館を過ぎて歩道橋の直前で右側の坂道を登ります。右手に科学技術館があります。(徒歩7分)

九段下駅 2 番出口から、日本武道館方面へ行き、日本武道館の前を通り過ぎて北の丸公園内を道に沿って進むと、左手に科学技術館があります。(徒歩7分)

※ご案内図：<http://www.jsf.or.jp/map/>

プログラム：

- 13:00 ~ 開場、受付
- 13:30 - 13:40 【開会および企画の意図について】 小野公一 亜細亜大学教授
- 13:40 - 14:10 【企業の事例報告1】 古澤(こざわ) 昌宏 氏
日野自動車株式会社 人事部人材開発室 グループ長
- 14:10 - 14:40 【企業の事例報告2】 三城(みしろ) 雄児 氏
ベリングポイント株式会社 組織・人事戦略チーム マネージャー
- 14:40 - 15:10 【病院の事例報告】 早坂 百合子 氏
日本医科大学附属病院 副看護部長
- 15:10 - 15:40 【コメント】 関口 和代 氏
東京富士大学大学院教授
- 15:40 - 15:55 【休憩】
- 16:00 - 17:20 【全体討論】

● **参加費：** 会員 500 円 非会員 1,000 円 ※当日会場受付にてお支払い下さい。

なお、法人会員の構成員の方は、会員と同じです。

● **申込方法：** 次の①～⑤の事項をご記載の上、下記送付先まで、FAX、メールまたは郵送でお願いします。

(様式は問いません)

※メールで申込みの場合は①を「件名」に記載してください。

①「人材育成学会研究会申込」 ②お名前 ③ご所属 ④会員・非会員の別 ⑤
連絡先(ご住所・お電話番号・E-Mail)

● **受講票：** 申込み受付次第、受講票を発行いたします。当日、受講票をご持参ください。

● **申込期間：** 2008年7月29日(火)より 8月29日(金)まで

● **送付先：** 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-12
株式会社人事工学研究所内 人材育成学会 研究会事務局 急式政代宛
kyushiki@jinkoken.co.jp 03-3668-4478(FAX)

以上